

# こどもの言葉と発達の見方・促し方

神戸大学大学院医学研究科内科系講座

小児科学分野こども急性疾患学部門

森貞直哉

# はじめに

- すべてのこどもはお母さんから出生後、外界の急激な変化に対応できるよう、様々な経験を通じて、多くの能力を順番に身につけて行きます。これを発達と呼びます。

## 【今日の予定】

こどもの発達のマイルストーン

言葉の発達と遅れ

発達の遅滞、障害

# こどもの発達のマイルストーン

(0-3歳)

# 生後1ヵ月

- ◎ ものがふれると手を握る、大きな音に反応する
  - 元気な声で泣きますか
  - 体重は増えていますか(1日あたり30-40g)
  - 体が柔らかすぎたり、反り返りやすかったりしませんか

# 生後3-4ヵ月

- ◎ 人の顔を見て微笑む、頸がすわる
  - 頸はすわっていますか(生後4か月児の90%)
  - 追視はしますか
  - 音に反応しますか

# 生後6-8カ月

- ◎ 母親の顔がわかる、寝返り
  - 腹臥位で、手掌で体を支えることができますか
  - お座りはできますか
  - 手を出して物をつかみますか

# 生後9-11ヵ月

◎ つかまり立ち、人見知り

□ ハイハイができますか

□ つかまり立ちはできますか

□ 指先でものはつまめますか

□ 模倣(バイバイ、マンマなど)はできますか

# 1歳-1歳半

## 1歳-1歳2カ月児

- 独歩はできますか(1歳児の60%、1歳6カ月児の99%)
- 「あれ取って(指さし)」はできますか
- 物をつまんでビンに入れることができますか

## 1歳6カ月児

- ごっこ遊びはできますか
- 「お口どこ?」「ここ」の指さしができますか



# 2歳

- ◎ 2つの言語指示(パパに新聞渡して)に従える、
- ◎ 2語文がいえる
  - 走れますか
  - ボールが蹴れますか
  - まねて直線がかけますか
  - 目・鼻・口・舌・へそなどがわかりますか

# 3歳

- ◎ 他者とのかかわり、自分の名前と年齢が言える
  - 三輪車に乗れますか
  - 階段を足を交互にして登れますか
  - 自分の名前が言えますか
  - はさみで直線が切れますか
  - 高い・低い、長い・短い、赤い・青いなどがわかりますか

# ここでのまとめ(1)

- 発達には個人差が大きいです。特に、ある「ひとつのことだけ」遅れていても他が十分に伸びていれば心配ないことが多いです。
- ただし、マイルストーンより**3カ月以上**の遅れがある場合は、一度医療機関を受診しましょう。

# 言葉の発達と遅れ

# 言葉の発達

## 言語表出

3-4カ月	笑う
7カ月	喃語
1歳-1歳6カ月	有意語
2歳-2歳6カ月	2-3語文
3歳	自分の名前がいえる

## 言語理解

3-4カ月	音の出る方向を向く
9-11カ月	ダメがわかる
12-18カ月	簡単な指示がわかる

# 言葉の遅れ

- 言葉の理解が悪いのか、理解しているが表出しないのか、または聞こえていないのか、コミュニケーションの問題か

- 言語症(特異的言語発達遅滞、表出性言語発達遅滞)
- 難聴
- 構語障害
- 自閉症スペクトラム障害
- 知的障害
- 後天性てんかん性失語

# 言葉の発達の促し方

- よく噛んで食べる、笛を吹く(構音を良くする)
- 言葉のシャワーを浴びせよう(絵本の読み聞かせが有効)
- 短くわかりやすい言葉
- 言葉以外のコミュニケーション(身ぶり手ぶりなど)も併用
- テレビ・DVDなどからの一方的な語り

かけにならないように(2歳までは控えめに)

## ここでのまとめ(2)

- 言葉の遅れは、まず原因を調べることが重要です。

特に難聴の有無を調べましょう。

- 遅れていると思っても急に話し出すことがあります。普段からお父さん、お母さんからたくさん話しかけてあげてください。



# 発達の遅滞、障害

# 脳と障害

- 脳は様々な機能をもっています。その機能が障害されると、その部位によってさまざまな症状があらわれます。

運動機能	→	脳性麻痺
認知機能	→	精神発達遅滞
社会性・行動	→	発達障害(自閉症など)
大脳皮質	→	てんかん

# 米国DSM-Vによる発達障害(神経発達症)の分類

- 知的発達症(精神遅滞)
- 自閉症スペクトラム症(ASD)

かつてアスペルガー症候群といわれたものなど

- 言語症
- 社会的コミュニケーション症(SCD)
- 注意欠陥/多動性障害(ADHD)
- 特異的学習症(学習障害)

DSM: Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders  
(精神障害の診断と統計の手引き)

# ①知的発達症(精神遅滞)

- 標準化された知能検査によって測定される全般的知的機能が平均以下であること
- 日常生活上の適応行動が、年齢相当の行動の基準よりも明らかに低いこと
- 発達期(通常18歳未満)に発症していること

IQ値で判定します

## ② 自閉症スペクトラム症 (ASD)

ASD: Autism spectrum disorder

### 社会的相互関係の問題

相手の気持ちを考えない、人見知りが強すぎる

### コミュニケーションの問題

言葉の遅れ、おうむ返し、独自の単語を使う

### 限局された興味・活動のパターン

こだわりが強い、同じことをくりかえす

※これらの症状が3歳くらいまでにみられることが多い

# 自閉症スペクトラム症の原因

明らかな原因はよくわかっていませんが、以下のものが想定されています。

遺伝

環境

アレルギー

自己免疫疾患

多剤耐性菌（MRSAなど）感染

虐待

# 自閉症スペクトラム症にしばしば合併する症状

感覚過敏・鈍感

多動、不器用

パニック

アンバランスな知能

字義通りに受け取る

優れた記憶力

## ③注意欠陥多動性障害(ADHD)

- 落ち着きがない、集中の持続ができない、気が散りやすい、忘れ物が多い、片づけられないなどが特徴
- 3つのタイプ

不注意優勢型

多動性・衝動性優位型

混合型



# ADHDの症状

- 不注意優勢型
  - 忘れ物が多い
  - 気が散りやすい
  - 不器用、片づけられない
- 多動性・衝動性優位型
  - 落ち着きがない、授業中に立ち歩く
  - 乱暴な子とみられやすい
  - 些細なことで手を出したり、大きな声を出す

## ④学習障害

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち**特定のものの習得と使用に著しい困難を示す**様々な状態を指すものである。

(厚生労働省ホームページより)

# 発達遅滞・発達障害の治療

- 現在、発達の遅れを取り戻すための、確実に有効な治療はありません。療育などでトレーニングを行います。
- 発達障害の症状である落ち着きのなさやコミュニケーション能力を改善する薬は開発されつつあります。しかし、完全なものはまだありません。
- したがって目標は、「日常生活、社会生活をできるだけ困難なく送れるようにすること」になります。

# 薬の治療

- ADHD: 衝動性を抑える

メチルフェニデート、アトモキセチン

- 自閉症: コミュニケーションを改善する

オキシトシン

- 二次障害

抗うつ剤、抗不安薬、抗精神病薬、睡眠薬

など

# ソーシャルスキルトレーニング(SST)

- ソーシャルスキルとは、「社会の中で人間関係を営むための基本的な能力」です。この能力を獲得するためのプログラムがSSTです。SSTは全国の医療機関や学校、グループでおこなわれています。
- 目標は、「子どもたちが自尊心をもって日々過ごせるようにすること」です。

わかりやすい、肯定的な  
言葉で話しかける

上手くできたらほめる

やってみせる

# まとめ

- こどもはお父さん、お母さんとの会話や遊びを通じてどんどん成長していきます。
- 毎日たくさん触れ合って、こどもの「できること」を増やしてあげてください。